

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2001-522916(P2001-522916A)

【公表日】平成13年11月20日(2001.11.20)

【出願番号】特願2000-520503(P2000-520503)

【国際特許分類】

C 08 L	23/14	(2006.01)
C 08 F	210/06	(2006.01)
C 08 K	3/34	(2006.01)

【F I】

C 08 L	23/14
C 08 F	210/06
C 08 K	3/34

【手続補正書】

【提出日】平成17年11月8日(2005.11.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0058

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0058】

【表1】

	引張弾性率	収縮
標準 PP コポリマー	1,400 Mpa	1.47%
標準 PP コポリマー + 3 % タルク	1,420 Mpa	1.38%
実施例2のコポリマー	1,400 Mpa	1.70%
実施例2のコポリマー + 3 % タルク	1,600 Mpa	1.59%

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0060

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0060】

実施例4

HDTおよびTcに対する効果

実施例2に従って製造された核剤入りのポリプロピレンをタルクとブレンドし、押出機でコンパウンドした。本発明組成物の剛性を、標準の核剤入りPPコポリマーと比較した。標準コポリマーの核剤は、タルク(<0.5%)または安息香酸ナトリウム(<0.1%)であった。

加熱撓み温度(HDT)は、ISO-75-2(方法B/0.45MPa)に従って測定された。

結晶化の温度は、示差走査熱量計(DSC)を用いて10/分の冷却速度で測定された。